

RKM 会報

Vol.22

2023年11月発行

編集・発行：RKM 幹事会事務局：桑水流正邦（くわするまさくに） 〒132-0035 東京都江戸川区平井 4-26-9 渡瀬方
メールアドレス：rkm634@rkm634.jp
ホームページ <https://rkm634-jp.sakura.ne.jp/>

RKM会長挨拶 36期 久我 昭雄



最初に、この一年に亡くなられた29期三輪勝久さん、41期畑正木さんのご冥福をお祈り申し上げます。三輪さんには戦後初のインターハイ優勝の中心選手として、また正木君には畑公の長男およびRKM幹事団の一員として、長いことRKMの活動にご協力頂きました。

感謝の念に堪えません。ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、この度新たに61期の朝川さん、高橋さん、中嶋さんに幹事を引き受けて頂きました（2頁参照）。お三方の活躍に期待するとともに、会員の皆さんのご支援・ご協力をお願いします。

コロナの影響も徐々に薄れ、多くの社会活動が活発になっています。RKMとしても、久し振りにHCDでの現役交流およびゴルフ会を開催することができました。HCD当日には私も体育館を覗きました。41期新津さんの審判でOBと現役が楽しんでいました。このようなイベントが戻ってきたのは嬉しい限りです。RKMの活動が復活し、もっともっと盛んになることを期待しています。

ご存知のように、この春に、41期の落雅美さんが同窓会会長を勇退されました。大変な時期に長いことご苦勞様でした。後任は54期の森さんです。これからはRKMも若い世代に頑張ってもらいたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

一年が経つのが本当にはやくなりました。本会報がお手元に届くころには年の瀬も近くなっていると思いますが、皆さんお元気で過ごして下さい。

幹事会より

「2024年の元旦バスケも中止します」

「集まること」「交流すること」を目標に、元旦バスケに代わる新たなイベントを若い方々と検討中です。アイデアがありましたらご連絡下さい。

3名の新幹事をよろしくをお願いします。さらに若い方々のご協力を期待しています。我こそはと思う方は幹事会までお知らせ下さい。

中学コーチは95期朝霧泰成さんから96期吉岡隼哉さんに引き継がれています。高中とも公式戦の試合観戦

はコロナ前に戻りました。現役への応援よろしく申し上げます。また、現在の顧問の先生方を「現役活動状況」に紹介しています。

会計資料を同封しました。2022年度は現役に「シューティングマシン」を寄贈しました（3頁参照）。また、中学コーチ支援および会計業務アウトソーシングのため2023年度は各12万円の支出を予定しています。

今後は、メールやHPの活用を増やし、郵送費や紙資料の削減を図る考えですので、ご協力よろしくお願いします。

【物故者】

2022年11月以降にご連絡を受けた方のご逝去をお知らせします。謹んで哀悼の意を表します。

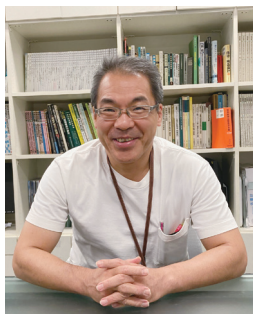
29期 三輪 勝久 様 2023年4月16日 ご逝去

41期 畑 正木 様 2023年3月6日 ご逝去



あらたな3名の幹事を紹介します

朝川 剛 (あさかわ たけし) 61期



この度は幹事ということで主に名簿管理をさせていただきます。私ども61期は中学の視聴覚教室の部活説明会で58期松本さんから勧誘を受け、59期秋場さんがキャプテンを務める中学のチームに1年生として入部し、中学時代は53期瀬戸さん、54期松原さんおよびお二人の同期の方々にコーチをしていただきました。当時は私自身練習嫌いであり、練習に音を上げてばかりでしたが、今思うと先輩方がコーチを務めてくれることや練習相手になってくれる環境はとても恵まれていたのだと感じております。高校では畑公から指導を受け、高校途中に導入された3点シュートをこれからどのように戦略に絡めていくかという時代でした。61期およびその前後の期の方々とは今も繋がりがあり、RKMに所属していることをありがたく思っています。

現在は、建築構造を専門として大学の教員をしている傍ら、建築設計事務所にて構造設計を行っております。61期も今年度55歳になりますが、微力ながらRKMに貢献することができれば幸いです。

高橋万紀夫 (たかはし まきお) 61期

同期の朝川君とともに名簿管理を担当致します。以後、宜しくお願い申し上げます。

高校から編入し、59期秋場さんがキャプテンを務めるチームに入部。「へばったら頑張れ!」



という畑先生の言葉に何度も支えられました。大学入学後、恩返しのつもりで中学チームのコーチを引き受け、就職後は日本興業銀行のバスケットボール部で汗を流しました。

同期は、年に2回会って生存確認をしていますが、会うと昔に戻れる貴重な仲間です。大事な仲間のいるRKMの幹事として、お役に立てれば幸いです。

中嶋 寿康 (なかじま としやす) 61期

RKMの思い出と言えば畑公、じゃなくて畑先生のご指導のことばかり頭に浮かびます。今でも昨日のことのように覚えているシーンがいくつもあります。体育館の景色や夏場の風通しの悪い空気まで感じられます。先生がもうおられないことが不思議なくらいです。



一方で、同世代の仲間達と出会えたこと、たくさんの体験を共有できたこと、そして彼らが皆一生涯付き合える大変貴重な仲間達であることが最高の幸せだと思います。

部活動というのはやってもやらなくてもよいものだし、実際、昨今ではやらない子供が全国的に増えていると聞きます。自分の経験を今の子供達に当て嵌めるのが必ずしも良いとは思いませんが、少なくとも僕自身はRKMのおかげで人生がとても豊かに幸せになりました。

これまでこの部を支えてくれた全ての先輩方や、今も続けてくれている全ての後輩達に心より感謝申し上げます。皆様、これからも宜しくお願い致します。

新入会員 97期紹介

こんにちは。この度、RKMの一員となりました97期です。伝統と誇りあるRKMに加われたことを嬉しく思います。97期はキャプテン・宗像壮良(むなかた ぞら)、副キャプテン・高山智史(たかやまともふみ)、会計・京増凛(きょうますりん)、主務・石倉滉史(いしくらこうじ)、マネージャー・眞田佳明(さなだよしあき)の5名です。私たちに紹介させていただきます。

4番宗像：キャプテンを務め、曲者揃いの97期に一体感をもたらしたチームをまとめました。試合ではディフェンスやリバウンドで気を吐きました。



左下・眞田、左上・高山、中央・宗像、右下・石倉、右上・京増

5番高山：長いウイングスパンと俊敏性、安定したポストプレイやミドルシュートを武器とするビッグマンで、チームの絶対的支柱として君臨しました。夏にはその活躍が認められ、支部選抜候補になりました。

6番石倉：97期の司令塔を務めゲームをコントロールしました。また、高精度のジャンプシュートでチームを安定させました。

7番京増：ハンドリングと優れたタッチ、フィニッシュ力を持ち、トリッキーなフェイクを得意とするスキルフルなフォワードで相手のファウルと得点を量産しました。

8番眞田：小柄なシューターとして、チームに波を作る様な、苦しい状況を救う様なスリーを幾度も沈めてきました。

97期はオフェンスでは全員がシュートを打てるという強

みと、長年じっくり築き上げたチームワークを活かしたモーションオフェンスを行いました。ディフェンスでは中学から鍛え上げられた1on1能力と伝統となっているオールコートプレスを武器に粘り強く闘いました。

次に中高時代の戦績です。中学総体では12年ぶりとなる都大会に出場することができ、高校では練馬区民大会第3位、IH予選では5年ぶりのベスト32という成績を残せました。最後となった保善高校との試合では、5人全員が足を攣るほど死力を尽くし、悔い無く引退することができました。高校の大会は全試合が無観客での開催となりましたが、ライブ配信などを通してたくさんの応援をいただきました。

最後になりますが、中学でコーチをしてくださった86期中村さん、宇野さんをはじめ、練習に出て頂いたり試合の応援をしてくださったOBの方々、沢山迷惑をかけるも優しく面倒を見てくださった先輩方、御指導くださった山崎先生、木本先生など、先生方のご尽力によって97期としてのバスケットを終えることができました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。



現役活動状況 78期 木本 健一

2023年3月28日に「B+ シューティングマシン (molten 社)」が納品され、31日からの校内合宿にて早速利用させていただいています。効率的に個人のシュート練習が行えることはもちろん、5方向への首振り機能を使ってチームでのシューティングドリルもより効率良く行えるようになりました。個人とチーム全体のシュート力向上により、1つでも多く勝ち上がれるよう日々取り組んで参ります。

この度はOBの皆さまから過分なる御寄付をいただきまして、誠にありがとうございます。



現在のバスケットボール部の指導体制を紹介します。

【高校】

顧問：山崎正晴教諭（保健体育）
 顧問補佐：木本健一 講師（数学）、
 辻有富講師（体育）
 トレーナー：池田裕太（チームエス）
 支援：津田好一講師（書道）

【中学】

顧問：鬼谷智之教諭（体育）、
 通堂あゆみ教諭（社会）、
 齋藤浩一教諭（英語）
 コーチ：吉岡隼哉（96期）

中学コーチ紹介 96期 吉岡 隼哉

皆様はじめまして。現在中学コーチを務めております96期卒業生の吉岡隼哉（よしおかじゅんや）です。私は現在上智大学経済学部の大学二年生です。武蔵中学・高校の生活を通してバスケ部の活動が最も印象に残っており、引退して3年経った今もなお当時の記憶が色濃く残っております。私自身は新型コロナウイルスの影響を受け、満足した練習を行うことはできませんでした。がこうして、武蔵のバスケ部を通して得たものを後輩に還元できることを大変嬉しく思います。

中学コーチとして至らないことが多くあると思いますが、伝統ある武蔵のバスケ部を少しでも色褪せないように、後輩に伝統を受け継げるように日々精進して参ります。

どうぞ約1年間よろしくお願ひいたします。

現在の中学バスケ部の活動状況も紹介させていただきます。

中学バスケ部は中学一年生15人、中学二年生13人の計28人で活動しております。キャプテンを中心に自主的に意欲的に活動し、練馬区上位進出を目指し、日々練習を重ねております。毎週火・木・土に活動し、平日は基礎的な練習、休日はOBとのゲームを通して



心も体も鍛えております。また、バスケが好きな生徒が多く自主練も意欲的に行っています。

今年のテーマとしてはパス&ランを掲げております。生徒自身の個々の能力自体は高いですが、個人に頼ったバスケットではどうしても練馬区の他の中学校に勝てないことからチームで攻めてチームで守る、5対5でバスケットをすることを意識しています。実際にパスのみでオールコートを攻める練習やオフボールの動きを意識した練習を多く取り入れたりしています。また、スピード感あるバスケットを目指し、生徒自身も高く意識してくれています。

久しぶりにコロナによる影響が無くなった代の練習ですので、近くに寄った際には会員の皆様が顔を出してくれることを心よりお待ちしております。練習中の写真を掲載させていただきます。



現役試合情報

★高校（高一～高二99期）

新人戦 第4支部大会

2022年10月30日@武蔵

武蔵●42-74日大第二

関東大会予選（Aブロック）

2023年4月9日@武蔵

武蔵●57-73都調布南

インターハイ予選（Aブロック）

2023年5月21日@武蔵

武蔵○74-64二松学舎大附

2023年6月4日@武蔵

武蔵●48-86都大崎

新人戦 第4支部大会

2023年10月29日@武蔵

武蔵○83-50杉並学院

2023年11月3日@都小平南

武蔵○59-54都小平南

2023年11月5日@帝京

武蔵●76-94都小平西

★中学（中二～中三101期）

練馬区民大会/第75回

2022年9月4日

武蔵●53-63豊二

練馬区新人大会

2022年11月3日

武蔵○49-33開三

2022年11月13日

武蔵●7-74三原台

練馬区総合体育大会/第60回

2023年5月

武蔵○68-42大泉西

2023年6月

武蔵●30-70三原台

関連サイト：

東京都高校体育連盟バスケットボール男子専門部

<https://tokyo-basketball-hsm.com>

練馬区中学 バスケットボール情報

<https://nerimabaske.amebaownd.com>

2023年度ホームカミングデイ 58期 松本 浩一郎

RKMにとっては4年ぶりとなるホームカミングデイでの現役交流会が9月9日(土) 高中体育館にて開催されました。

14時に集合してOB対現役の交流試合、16時からはフリースロー大会で汗を流しました。

現役高校生は高1と高2で10名超、合流した中3を合わせると20名を超える大所帯。中学生も各学年全て10名を超えており40名に迫ろうかという勢いです。

中学コーチは96期吉岡さん(上智大2年)、高校は山崎先生と78期木本さんが指導してくれています。顧問も長年にわたり務めてくださった川端先生から、早稲田大学相撲部出身の鬼谷(オニダニ)先生にバトンタッチ。

HCDと元旦バスケを経験しているのは、最上級生の高2(99期)だけだそうで、月日の経つのは速いものです!

70歳を越えている41期新津さんが元気なお姿で全試合の審判して下さいましたが、集まったOBでゲームに参加したのは、53期畔柳さん、58期松本、92期村田さん、66期増子さん、69期杉さんのわずか5名。木本さんが助っ人に入ってくれましたが、中3には連勝

したもの、高1には惜しくも敗れました。大先輩である32期佐室さん、34期中山さん、36期久我さん(RKM会長)、47期桑水流さん(RKM幹事長)、61期桑田さんもコートに顔を出してくれました。

フリースロー大会は「まず2本連続で決めた場合だけ勝ち残れる、そして決勝ラウンドは3本連続」というサドンデス方式のルールを採用したため、数十名の参加者の大部分があつという間に脱落して行くというハードな闘いでしたが、宮本くん(高2副キャプテン)が見事優勝、準優勝今城くん(高2)、三位中野くん(中3)という結果でした。

時代は変わっても、高中体育館を縦横無尽に走り回る現役と心地よい汗を流すことができるHCD、来年は現役たちに一矢報いるべく、多くのOBのご参加をお待ちしています。



筆者・松本さん



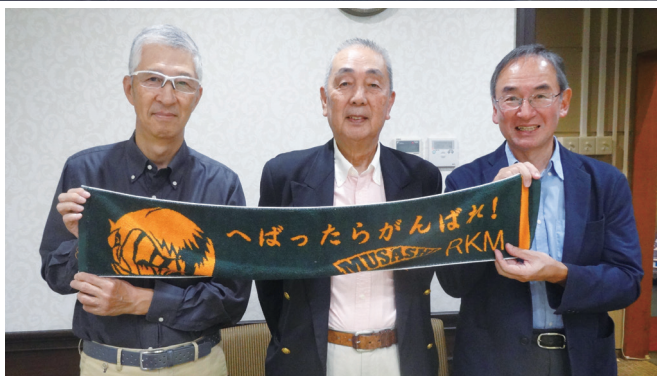
2019年10月以来、コロナ禍の影響で4年ぶりとなる「RKMゴルフ会」が、2023年10月18日(水)、澄み渡る青空の下、東京よみうりカントリークラブにおいて開催。参加者は31期から58期まで総勢11名。49期鰐淵浩さん、52期吉沢文二さんのお二人が新メンバーとしてデビューされました。

「優勝」は34期丸瀬宜雄さん、「準優勝」52期吉沢さん、「3位」49期鰐淵さん。

「ニアピン賞」は52期吉沢さん(2番)、36期久我昭雄さん(15番)、が獲得。また、紅一点、孤軍奮闘の頑張りを見せてくれた、お茶の水 OGの岩切真佐美さん(36期のお仲間)に「特別賞」が贈られました。

天候にも恵まれ、アップダウンの激しい林間コースにもかかわらず、全員が無事完走。また、多くの方が、毎年12月同クラブにて開催される「ゴルフ日本シリーズ JTカップ」の名場面に思いをはせつつ、特設ルール「18番ホールバックティ」を堪能されました。

次回、春の RKMゴルフ会は2024年6月頃開催予定



左より 鰐淵さん、丸瀬さん、吉沢さん

です。RKMそしてRKMシンパのゴルファーの皆さん、奮ってご参加下さい。

RKM50年史より(1977年11月発行) 巻頭言 三ツ本 常彦氏(要約)

昭和2年(1927年)の秋、関東高校リーグが結成されたが、その時の加盟校は一高、浦高、東高、武蔵、成蹊、成城の6校であった。第2次大戦後、官立の3高校はそれぞれの大学に吸収され、我々古い RKMにとっては大変に心淋しいものであった。武蔵は、学制改革による内容の変化はあっても、武蔵として存在し、昔の伝統を今に伝え、そして将来にもつながって発展していく状況にあることは、RKMにとって恵まれたそして誠に幸せなことであったと思う。RKM50年史が綴られるのも、この基本の現実のお陰である。

関東高校リーグに初参加して10戦10敗の屈辱の歴史の後で、我々は猛練習に入ったが、それは我々だけで学び合い、考え合い、教え合って練習を重ねていったものである。学校の教育の目標であったからとすること以上に、創設当社の RKMの人々はただバスケットは好きだが経験者がいないので、自ら調べ自ら考えざるを得ない状況の中にスタートしたのであった。

我々は RKMの一員としてただバスケットを共にしたと言う

だけではなしに、何かそれ以上の共通した心情を持ち合っている。今では親子ほど、あるいはそれ以上の年代の隔りが会員の間に生じてきているが、RKMとして集まれば一瞬のうちに同じような心情に浸れると言うことは素晴らしいことであり、この喜びを何時までも持ち続けられるように大事にしたいものである。

